

発行:平成28年1月28日(月1回程度発行)

発行元:郷づくりまるやま 編集:地域づくり支援員

〒299-2592南房総市岩糸2489(丸山地域センター内)TEL:0470-46-2388

FAX:0470-46-3991

URL:<http://civil.mboso-etoko.jp/group/detail.asp?id=84>



第7回丸山農業まつりが1月17日(日)道の駅ローズマリー公園を会場に、「農業まつり実行委員会」主催でJAの各部会や各直売所、郷づくりまるやまの参加により開催されました。

暖冬といわれる今冬ですが、この日は、冬らしい寒さの中、曇り空からは時折パラパラと雨が落ちてくるという、あいにくの天候になってしまいました。

が、たくさんの地域の方をはじめ、観光客など多くの来場者、また、関係者みなさんの協力のおかげで、今年の「農業まつり」も成功裏に終えることができました。

今回は「郷づくりまるやま」の出展の様子を掲載します。

第7回 丸山農業まつり



チーバクんとみなたん登場に
くじ引き待ちのお客さんも大喜び♪

イベントの会・くじ引き
毎回人気!長蛇の列!



セーフティー丸山
ロケットストーブ実演



イベントの会・模擬店
温かい豚汁はいかが~



まるやま花華俱樂部
ひまわりフォトコンテスト入選者表彰

セーフティー丸山・旭市防災資料館視察

郷づくりまるやまの部会「セーフティー丸山」が、昨年12月に旭市の防災資料館見学とガイドによる被災地案内、被災体験談の講話受講の視察研修に行きました。

「いいおか」の津波被害は、第1波が到達した後に安心して荷物を取りに自宅へ戻った方が多く、海岸地形の理由により、第3波が最大7.6mとなり、被害が大きくなった原因だそうです。

防波堤は、従来の海岸線よりかさ上げされ建設されています。仮設住宅は、当時の被災状況を残す資料として、災害の記憶を絶やさないとNPOが保存活動をしています。避難タワーは、国の復興事業費により市内に4基建設されています。旭市が想定している10mの津波時の一時避難場所です。この避難タワーは、1基あたり3000万円から3500万円ですが、現在はこの値段では作れないという話でした。

お昼は復興弁当を食べ、ガイドさんによる被災体験を聞き、伝えたいことは、まずは自分の身を守り冷静に行動してもらいたいとのことでした。



飯岡地区



避難タワー

～ ほっとスポットひだまり開催 ～

『ほっとスポットひだまり』が11月10日（火）小戸青年館で開催されました。

はじめに部会長の和田豊さんより、

「みなさんこんにちは、小戸では、このひだまりが3回目の開催になると思います。前は、小戸のカリカリ梅や小戸の集会所のお話でしたが、まだまだ奥深い話がたくさんある所だと思います。今日は雑談の中から共通の話を取り上げていきたいと思います」と挨拶がありました。

司会者の渡邊利昌さんからは、

「長生きの秘訣は3つあります。ひとつは、しっかりと食べて栄養を取ること、体をやわらかく保つこと、粘り強く一つのことを続けて持続性を保つことです」

との話がありました。そして、民生委員の吉野さんから、

「小戸地区は、まとまりも良いし、みなさんお元気に過ごしていらっしゃいます。今日は楽しいひと時になればと思っております」と挨拶して下さいました。

小戸にお住まいの星谷さんは、お母様の話をして下さいました。最後は脳トレで体を動かしました。

今回は梅寿会の参加があり多くの方がいらっしゃいました。



からだを動かして脳トレ